



## 空家の現状調査結果のお知らせ

昨年10月支部長・班長にご協力頂き、空家の現状調査を実施しましたが、この度その結果を取り纏めましたので概要をお知らせ致します。

この調査は、空家と思しき家屋の樹木や雑草の繁茂、家屋の劣化や破損状況を目視で確認し、柏ビレジの住環境の維持・改善、並びに防犯・防災上の懸念事項の未然排除を目的に実施したもので、今回は2度目の調査になります（1度目は平成26年度）。結果は以下の通りでした。

- ①空家数は58戸（空家率は約4%）。
  - ※平成26年度調査時の空家数は56戸（空家率は約4%）。
  - ※平成26年度から継続して空家のお宅は22戸。
- ②樹木や雑草の繁茂が目立ったお宅は21戸。
- ③家屋の一部が劣化・破損していると見受けられたお宅は7戸。

空家率は全国平均（16～7%とされています）に比しても低く、現時点では問題の無い水準と言えます。前回調査時から継続的に空家となっているお宅は22戸で、36戸のお宅は新たに空家になったお宅です。逆に前回調査時は空家だった34戸のお宅に新しい方が住まわれています。実態を更に細かく分析する必要がありますが、転居等の事情で空家になったお宅に若い方達に移り住んでこられていると想定できます。魅力ある街づくりを通じて更に若い方達に移り住んでもらえるようにしたいと思います。

家屋の一部が劣化・破損については、屋根や壁が一部劣化している、雨戸や雨樋が一部破損しているというもので、対応が急がれるお宅は1戸もありませんでした。

空家になる要因は様々想定されますが、一人住まいのお年寄りが体が弱くなり、施設に入ったり子どもと同居するようになり空家になったケースが最も多いと言われています。柏ビレジには、普段は遠くにお住まいで時々様子を見に帰宅されるお宅もあり、これらはいずれ空家になる確率が高いお宅と捉えることができます。空家対策部会では、柏ビレジの住環境を維持・改善するため、次年度も「空家対策部会による調査」を継続していきます。ご協力よろしくお願ひ致します。

以上